

## まちなか雛めぐり

### お雛様を見ながらいにしえに想いを

春らしい気候が続き、雪どけが進んだ4月2～3日、「まちなか雛めぐり」が開催され、町中心部は多くの来場客で賑わいました。蔵史館やマルコの蔵など、6施設で古今雛や錦絵を展示。来場者の皆さんは、優美で気品あふれるお雛さまを見てまわり、春の訪れを楽しんでいました。その他にも、キッズクラブ発表会や蔵の会によるお抹茶のお点前が行われました。



▲お茶のお点前に挑戦するキッズクラブの子どもたち

▼各玄関先でご神体を前に独特のフレーズが唱えられた



### 今年1年の豊作を祈願し 春一番に山の神様をお迎え

町内に古くから伝わる行事「山の神勸進」が4月2日、各地区で行われました。このうち山崎地区では中学2年生までの男子14名が参加し、1日かけて地区内の約80軒を周回。最年長で大将の小野樹生くんは「大将は今年で最後なので、人一倍声を出して頑張った。人数は少なくなっているけど、これからも続けていってほしい」と話し、後輩たちへエールを送っていました。

▼贈られた折り紙には消防車や救急車が描かれている



### めぐたま年長園児が防火パレード 広域消防から感謝を込めてプレゼント

認定子ども園めぐたまの年長児たちが4月18日、防火パレードを行い「火の用心！マッチ一本火事の元！」の掛け声とともに町中心部を練り歩きました。春と秋の火災予防運動期間に合わせた恒例行事。防火運動の啓発に感謝を込めて、最上広域消防本部の早坂金山支署長から「防火折り紙」が贈られました。笹原愛ちゃん（七日町）は「これからも火事には気をつけたい」と話していました。



▲空き缶やペットボトルなど様々なごみが落ちていた



### 交通安全母の会が夜光反射材を贈呈 中高生の安全確保のために

4月18日、金山町交通安全母の会から金山中学校・新庄南高金山校に自転車用の夜光反射材「サイクルキャップ」が贈呈されました。夜間の自転車事故を防止するため、当会が初めて中高生を対象に実施した。会長の松田聖子さんは「最近、県内でも自転車事故が多発している。ましてや金山は、国道沿いに学校があり危険。ぜひ事故防止に役立ててほしい」と話していました。



▲熊坂金山校教頭に手渡す松田会長と星川副会長

# まちの わだい



身近なわだい、お寄せください。  
総務課 広報情報係 ☎52-2111(内線225)

### 認定子ども園めぐたま 新園舎で元気いっぱい入園式

4月6日、新園舎では初めてとなる認定子ども園めぐたま入園式が執り行われました。今年お迎えした新しいお友達は37名。入園を歓迎するように、お兄さん・お姉さんたちがお歌を披露しました。もも組に入園した沼澤凜音ちゃん(片貝)は「お姉ちゃんたちと遊ぶのが楽しみ」と話し、胸を膨らませていました。

1\_パパやママと一緒にドキドキの入場 2\_早速、積み木で遊ぶめぐたまも 3\_元気にご返事できました 4\_もも組(年少)に新しく入園した皆さんで集合写真

▼新入生を代表して誓いの言葉を述べる齋藤椿さん



### 金山中学校入学式 新入生48名が新たなスタート

4月7日、金山中学校の入学式が挙行政され、真新しい制服に身を包んだ新入生48名が新たなスタートを切りました。新入生の緊張をほぐすように「失敗も経験。主体性をもってどんどん挑戦してほしい」と鈴木英樹校長が優しく激励。新入生代表の齋藤椿さん(七日町)は「悔いの残らないよう自分自身を向上させたい」と誓いの言葉を述べ、それに応えました。